

ながたに 長谷集落写真展 ～我がふるさと長谷～

南さつま市金峰町大坂の長谷集落は、鹿児島市から南に車で40分ほど行ったところにある、「ちごの滝」をはじめとする清流と豊かな森林に囲まれた山間の小さな集落です。
世帯数は15世帯。高齢化率は80%を超えています。

少子化と高齢化により地域コミュニティの維持・存続が危ぶまれ、田畑の荒廃や空き家の増加、担い手不足の問題など様々な課題を抱えるなかで、NPO法人プロジェクト南からの潮流と出会いました。

集落の住民とプロジェクト南からの潮流は、豊かな自然を後世に残し、地域を活性化するため、都市住民との交流を含めた様々な体験活動を計画し、これをきっかけに交流人口の増加・担い手の育成・定住の促進などにつながることを期待して、平成18年に活動を始めました。

平成21年には、鹿児島県南薩地域振興局の集落活性化検討モデル事業を通じて、ボランティアの鹿児島大学生と出会い、平成22年にはその大学生たちがボランティアサークル「Free Spot（フリースポット）」を設立し、現在も長谷集落で活動を続けています。

今回、集落活性化検討モデル事業が最終年度ということもあり、大学生の発案により、大学生とプロジェクト南からの潮流、南薩地域振興局との協働で長谷集落に暮らす方々の写真展を行うことにしました。

大学生が集落の全世帯のお宅を訪問し、昔の集落の様子や思い出、今後どうなって欲しいかなどについてインタビューを行いました。

若い大学生の目からみた過疎の集落に暮らす方々の思いなどを通じて、過疎集落の現状について考えるきっかけになれば幸いです。

長谷集落

長谷集落、唯一の自然公園的な役割を果たしているちごの滝とその周辺は、昔の面影を残しながら、環境整備の不備等により荒廃してきていた。

そこで、長谷自治会が中心となり、地域住民や集落関係者による地域づくりが始まる。

現在15世帯25人が住み、高齢化率は80%を超えるが、自然を活かした都市住民との交流活動に積極的に参加している。

NPO法人プロジェクト南からの潮流

昭和62年から始まった「吹上浜砂の祭典」への関わりをきっかけに、もっと地域おこしを充実させたいという思いをもった人が集まる。

名称には、黒潮の暖かく力強い流れが豊かな幸を運んでくるように、文化や思いもまた潮のように流れて、人々の間を伝わっていくように、南さつまの地から新しい流れをつくりたい、そうした思いが込められている。

現在、各種イベントでの文化的活動や自然体験活動を通したまちづくりを展開している。

南薩地域振興局

- ◆ 地域振興推進事業
(集落活性化検討モデル事業 H21～H23)
長谷集落で奉仕作業や農業体験等の活動を実施し、集落活動の活性化に係る施策のあり方を検討

出会い

連携

鹿児島大学「Free Spot」

平成21年度に集落活性化検討モデル事業に参加した鹿児島大学生が平成22年3月に設立

長谷集落を中心に集落活性化の活動や広報誌作成などを行っている。

多様な主体の協働による集落活性化の取組